

第45回理事会、第16回評議員会・第46回臨時理事会を開催しました

当財団の第45回理事会を2024年6月5日(水)、また、第16回評議員会および第46回臨時理事会を6月21日(金)に帝国ホテルを会場にハイブリッド会議として開催いたしました。

第45回理事会の議案は「2023年度事業および決算報告の件」「『理事・監事・評議員及び顧問の報酬等支給基準規程』改定の件」「評議員会に推薦する理事候補選任の件」「主たる事務所移転日の件」「『就業規則』他の改定の件」「任期満了に伴う資産運用委員選任の件」の6件で、いずれも原案どおり承認されました。

第16回評議員会では「2023年度事業および決算報告の件」

「『理事・監事・評議員及び顧問の報酬等支給基準規程』改定の件」「理事選任の件」の3件が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

新任の理事として高品宏仁氏((一社)日本広告業協会 専務理事)、永江 禎氏(㈱電通グループ グローバル・コーポレート・セクレタリー)、西部憲一郎氏((公社)ACジャパン 専務理事)が選任されました。

また第46回臨時理事会では「理事長選任の件」「理事長の年額報酬の件」の2件が承認され、理事長に遠谷信幸氏が選任されました。

貸借対照表

2024年3月31日現在

科目	金額 (単位: 千円)
I 資産の部	
1. 流動資産	284,101
2. 固定資産	
(1) 基本財産	23,583,470
(2) 特定資産	11,860,532
(3) その他固定資産	458,044
資産合計	36,186,147
II 負債の部	
1. 流動負債	69,720
2. 固定負債	83,127
負債合計	152,848
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	33,798,960
2. 一般正味財産	2,234,339
正味財産合計	36,033,299
負債及び正味財産合計	36,186,147

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	金額 (単位: 千円)
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	575,748
特定資産運用益	42,635
受取寄付金	31,883
雑収益	4,583
経常収益計	654,850
(2) 経常費用	
事業費	550,726
管理費	104,124
経常費用計	654,850
評価損益等調整前当期経常増減額	0
評価損益等計	△ 28,266
当期経常増減額	△ 28,266
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	11,698
(2) 経常外費用	11,940
当期経常外増減額	△ 242
当期一般正味財産増減額	△ 28,508
一般正味財産期首残高	2,262,848
一般正味財産期末残高	2,234,339
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	705,073
特定資産運用益	170,499
基本財産評価損益等	△ 2,115,345
特定資産評価損益等	918,412
一般正味財産への振替額	△ 629,491
当期指定正味財産増減額	△ 950,851
指定正味財産期首残高	34,749,811
指定正味財産期末残高	33,798,960
III 正味財産期末残高	36,033,299

2023年度助成研究集の刊行

当財団は、2023年度(第57次)の助成研究成果の要旨をまとめた『助成研究集(要旨)』を刊行しました。掲載されている研究テーマ等は以下のとおりです。

助成研究成果のフルレポートは当財団のアドミュージアム東京内のライブラリーで閲覧できます。



【常勤研究者の部】

代表者氏名	肩書	研究テーマ
【指定課題】 青木 哲也 他1名	一橋大学社会科学高等研究院 特任講師	消費者はプラットフォームに従う ～協調フィルタリングによるリコメンドが持つ客観的特注感～
【継続研究】 神田 正樹	京都先端科学大学経済経営学部 経営学科准教授	包括的消費者エンゲージメント・モデルの構築
【継続研究】 寺崎 新一郎 他2名	立命館大学経営学部 准教授	消費者アフィニティの購買行動モデル及びコミュニケーション・アプローチ～対象国への知覚された精通性、心理的距離の視点から～
【継続研究】 橋本 博文 他2名	大阪公立大学大学院文学研究科 准教授	ヘルプマークに対する肯定的な認識を促す広告の効果検証～日本人の心の特性を前提に据えた効果的な周知のあり方に関する実験研究～
【継続研究】 李 振 他3名	関西大学商学部 准教授	インフィード広告の有効性における広告表現とソーシャルメディアのマッチング効果～多様な実験データに基づく洞察～

【大学院生の部】

氏名	肩書	研究テーマ
石田 真貴	関西学院大学大学院商学研究科 博士課程後期課程	リードユーザーによる革新的新製品の評価とフォールスコンセンサス効果の検証
宮本 純至	慶應義塾大学大学院商学研究科 後期博士課程	消費者による購買チャネル使い分けの意思決定とパターンに関する研究

※肩書は助成当時のもの

2025年度研究助成 募集のお知らせ

当財団では、2025年度研究助成の募集を開始します。広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等の研究を対象に審査の上、助成金を給付します。あわせて助成対象者が一定の枠内で利用できる消費者調査を提供します。提出された研究成果の中から優れた研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。応募の締め切りは、2025年1月10日(金)です。

1. 研究助成の目的

「広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコ

ミュニケーション等”に関する研究助成を通じて、その理論・技術および知識・情報の普及・発展を図り、それをもって学術・文化・経済の持続的発展および一般消費者の利益の増進に資することを目的としています。

2. 助成対象者・助成金額・件数

上記分野の研究に携わる研究者で、助成を受ける期間中、大学に所属する者。

(1) 常勤研究者の部

【対象者】 大学に在職する助教以上の常勤研究者(個人またはグループ研究)

[助成金額] 単年研究300万円以内/件
継続研究400万円以内/件

[件数] 10件程度

(2) 大学院生の部

[対象者] 博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究)

[助成金額] 単年研究50万円以内/件
継続研究60万円以内/件

[件数] 10件程度

3. 研究課題

(1) 自由課題(上記分野に関連する研究課題を自由に設定)

(2) 指定課題

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③心と身体に関するマーケティング研究

4. 研究期間

(1) 単年研究…1ヵ年以内

(2) 継続研究…2ヵ年以内

5. 研究支援のための消費者調査

当財団では、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。

6. 選考方法

当財団の選考委員会による公正な審査の上、2025年3月下旬開催の当財団理事会で決定します。

7. 結果の発表

2025年4月上旬に応募者あて個別に採否を通知します。

8. 研究成果の報告

常勤研究者の部では3万字程度以上、大学院生の部では2万字程度以上の研究成果を期限までに提出。

9. 応募手続

(1) 応募方法

当財団の研究助成システム(<http://app.yjk-yhmf.net>)に登録の上、マイページからお申し込みください。詳細は当財団ホームページで確認いただけます。

(2) 応募期間 2024年11月1日(金)~2025年1月10日(金)

(3) 応募先・問い合わせ先 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

10. 助成研究吉田秀雄賞

優れた研究には選考委員会の審査により「助成研究吉田秀雄賞」が授与されます。

吉田秀雄記念事業財団 事務所移転のお知らせ

このたび、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団は事務所を移転しましたのでご案内申し上げます。新事務所に関する情報は右記の通りです。

移転日 2024年8月5日(月)
新住所 〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階
新電話番号 03-6264-1208
アクセス 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 東銀座駅 6番出口から徒歩1分
都営大江戸線 築地市場駅 A3出口から徒歩4分

Editor's Note

今号から政府が掲げる政策についてご解説いただく連載を開始した。国が抱える中長期課題を踏まえ、緻密に計画立案されていることが大変よく理解できた。政策立案の中心的役割を担っている官僚の退職者が減ることを切に願う。

(焼仙草)

この夏は、お米を調達するのに苦労しました。「お米が足りない」という情報や、南海トラフ地震臨時情報が重なり、店舗で売り切れの状態が長く続くことに。これを機に、「災害時にごう冷静な判断をするか」について考えたいと思いました。

(葡萄)

「災害時は立場の弱い者から、より大変な状況に陥ってしまう」現実があります。一方で、その弱い立場の筆頭である子どもにも導かれるように、インスタントハウスが設計され、こども食堂が防災拠点となっていくまじました。子どもは推進力です。

(ひろた)

こども食堂について防災という視点で取材した。日常的に安全に食を取り扱い、さまざまな世代とのつながりを大切にしている。確かに防災拠点としてうってつけた。自分の身の回りにもこども食堂がないか探してみようと思う。

(みずさわ)

AD STUDIES 2024年9月25日号 通巻89号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階
TEL : 03-6264-1208 FAX : 03-6264-1228
URL : <https://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹
編集長 小林球一
編集部 岩本紀子、沓掛涼香、小島康平
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+藤田将史、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。